

絆宣言

清らかな川の流れ、秋の紅葉、擲筆峰、一目八景。
自然豊かでたくさんの方が訪れる、私たちの自慢のふるさと耶馬溪町。

二〇一二年七月三日、その自然が突如として、私たちに襲いかかってきました。
朝から降り続ける雨。川の水位は上がり続けました。
川が氾濫し、ついには避難を余儀なくされたのです。
逃げ惑う人々。流される車。まるで映画の一場面を見ているようでした。

水が引いて外を見ると、信じたくない光景を目の当たりにしました。
道路が壊れ、大木が横たわり、橋も流されていました。

この時自然に対する恐怖心を初めて覚えました。
多くの人が、被害に遭い、住む家がなくなった人もいます。

そして七月十四日。再び悪夢が繰り返されました。二度目の水害が襲ってきたのです。
洪水の直後は、現実が受け入れられず、笑うことすらできませんでした。

そんな私たちの元に、多くの人が駆けつけてくれました。
食べ物を準備してくれた人、泥だらけになりながら床下の泥をかき出してくれた人、荷物や壊れた家具を運び出してくれた人。そんな人たちに大きな勇気をもらいました。

困難な中でも、笑顔でいれば前向きになれるし、周りの人を明るく気持ちにすることもできるということを学びました。

私たちは自然の中で生きています。その自然に逆らって生きることはいけません。しかし、私たちはお互いに助け合うことができます。

私たち耶馬溪中学校の生徒は、あの日のことを忘れることなく、夢と希望のあふれる未来のために、仲間や地域の人と一層の絆を深めながら進んでいくことを誓います。

二〇二〇年七月一日 耶馬溪中学校生徒会